GPS 安全性要約書

この GPS 安全性要約書は、化学産業界の自主的化学物質管理の取組み（GPS: Global Product Strategy）に基づいて、当社が販売する化学製品のリスク評価結果に関する情報の概要を一般社会に提供するものです。

この文書は、ヒトの健康や環境への影響あるいはリスク評価の詳細等の専門的な情報を提供するものではありません。また、安全性データシート（SDS）、または化学品安全性報告書（CSR）に代わるものではありません。本製品のお取り扱いに際しては、当社が発行する SDS をご確認下さい。

記載内容は現時点で入手できる法令、資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、いかなる保証をなすものではありません。

物質名 （SUBSTANCE NAME）

メタノール （methanol, CAS No. 67-56-1）

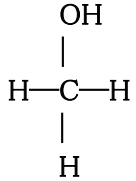
物質の概要 （GENERAL STATEMENT）

メタノールは、水と良く混ざる、穏やかなアルコール臭のある液体です。無色透明で、揮発性があり、引火性があります。

合成樹脂、接着剤、医薬、農薬等の工業製品を合成する原料及び合成時の溶剤として工場で使用されます。また、塗料などの溶剤としても使用されており、2012年には国内で167万t、世界で6100万tと非常に幅広く、多くの用途に使用されています。

本製品のお取り扱いは、当社が発行する安全性データシート（SDS）に従って行って下さい。
消費者製品の使用では、製品の取扱説明書に従った方法で使用して下さい。
また、環境への負荷を最小化するために漏洩防止策を講じるとともに、定期的な監視や設備の保守点検を行って下さい。

化学的特性 （CHEMICAL IDENTITY）

項目	内容
一般名	メタノール
商品名	メタノール
英名	methanol
CAS番号	67-56-1
その他の番号	官報公示整理番号（化審法，安衛法） (2)-201 EINECS番号 200-659-6
分子式	CH_3OH
構造式	
その他の情報	特になし

使用・用途と適用 （USES AND APPLICATIONS）

当社製品の主な用途	多くが工業製品（ホルマリン、酢酸など）の原料として用いられます。また、この他に洗浄剤、反応溶剤、ウィンドウォッシャー液、塗料や接着剤等の溶剤用途や、下水処理施設の活性汚泥の栄養素、製紙漂白や固形燃料などとして、非常に幅広く用いられています。

物理化学的特性 （PHYSICAL/CHEMICAL PROPERTIES）

外観（物理的状態）	液体
色	無色透明
臭気	刺激臭
密度	0.7928 g/cm^3
融点/沸点	−97.8 ℃/65 ℃
可燃性/引火性	GHS引火性液体　区分2：引火性の高い液体
引火点	12 ℃（密閉式）
爆発上下限界	下限　6.0 vol%、上限　36.5 vol%
自己発火温度	464 ℃
蒸気圧	8,000 Pa（12.1℃）　12,700 Pa（20℃）
分子量	32.04
水溶解性	よく混和する　1,000,000 mg/L（20℃）
オクタノール－水分配係数	LogKow：−0.74

ヒト健康影響 （HEALTH EFFECTS）

影響評価	結果 （GHS[*1] 危険有害性分類）
急性毒性（経口）	飲み込むと有害（区分4）
急性毒性（吸入）	（気体・粉塵）分類対象外[*2] （蒸気）区分外[*3] （ミスト）分類できない（毒性報告の情報はない）
急性毒性（経皮）	区分外[*3]
皮膚腐食性/刺激性	分類できない（毒性報告の情報はない）
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	強い眼刺激（区分 2）
呼吸器感作性	分類できない（毒性報告の情報はない）
皮膚感作性	区分外[*3]
生殖細胞変異原性	区分外[*3]
発がん性	分類できない（毒性報告の情報はない）
生殖毒性	生殖能または胎児への悪影響のおそれ（区分 1B）
特定標的臓器（単回ばく露）	臓器(中枢神経系、視覚器、全身毒性)の障害（区分 1（中枢神経系、視覚器、全身毒性）） 眠気またはめまいのおそれ （区分 3（麻酔作用））
特定標的臓器（反復ばく露）	長期または反復ばく露による臓器(中枢神経系、視覚器)の障害（区分 1（中枢神経系、視覚器））
吸引性呼吸器有害性	分類できない（毒性報告の情報はない）

備考	*1 GHS：Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals。世界的に調和されたルールに従い、化学品を危険有害性の種類と程度により分類するシステム。 *2 分類対象外：信頼性あるデータがない、またはデータ不足のため分類できない *3 区分外：GHS規定の最も低い有害危険性区分より更に低い危険有害性と考えられる。

環境影響 (ENVIRONMENTAL EFFECTS)

影響評価	結果(GHS危険有害性分類)
水生環境有害性(急性)	**区分外***2
水生環境有害性 (長期間)	**区分外***2
オゾン層への有害性	**分類できない**
備考	*1 GHS：Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals。世界的に調和されたルールに従い、化学品を危険有害性の種類と程度により分類するシステム。 *2 区分外：GHS規定の最も低い有害危険性区分より更に低い危険有害性と考えられる。

環境運命・動態	結果
生分解性	**生分解しやすい**
生物蓄積性	**生物蓄積性は低いと考えられる。**
PBT/vPvBの結論	**PBT*、vPvB**に該当しない。**
備考	*PBT：Persistent, bioaccumulative and toxic(環境中に残留性し、高い生物蓄積性と強い毒性を有する) **vPvB：very Persistent and very Bioaccumulative(環境中に非常に残留性しやすく、非常に高い生物蓄積性を有する)

ばく露 (EXPOSURE)

作業者および消費者、環境へのばく露は、以下の取扱い時におこる可能性があります。

詳細	No.	当社製品の主な用途におけるばく露の可能性(ばく露経路)
作業者ばく露	1-1	**以下の作業時には、経皮・吸入ばく露の可能性があります。 ・製造工程での使用時には、サンプリング、充填、排出の際、および設備メンテナンス、装置故障の際等。 ・流通における移し替え作業時。 ・接着剤や塗料等の調剤として混合・混和する作業時や、それら製品のローラー、ブラシ、スプレー等での塗布時。**
消費者ばく露	2-1	**以下の製品の使用時には、経皮・吸入ばく露の可能性があります。 ・ウィンドウォシャー液、塗料製品 以下の製品使用時には、吸入ばく露の可能性があります。 ・卓上固形燃料**
環境ばく露	3-1	**以下の工程では、大気及び水環境へ放出される可能性があります。 ・工場で使用する工程。 以下の工程では、主に大気及び水環境へ放出される以外に土壌環境へも放出される可能性があります。 ・接着剤や塗料の溶剤や、成形品の一部にならない加工助剤として産業で使用する工程。 以下の製品使用時には、大気、水及び土壌環境へ放出される可能性があります。 ・消費者製品の使用時**
注意事項		**使用される場合は、当社が発行する安全性データシート(SDS)に従い、適切な措置を実施して下さい。**

推奨するリスク管理措置 （RISK MANAGEMENT RECOMMENDATIONS）

詳細	No.	当社リスク評価結果に基づく推奨する管理措置
対作業者ばく露	1-1	使用時は、安全性データシート(SDS)に従い、適切な保護めがね、保護マスク、保護手袋を着用し、屋内では局所排気や良好な換気の元、作業を行う。 また、当該物質については、厚生労働省(2009)より管理濃度として 200 ppm が定められている。また同様に日本産業衛生学会(2012 年版)およびACGIH(米国産業衛生専門家会議、2009 年版)により、作業環境許容濃度の勧告値として、200 ppm(TWA－時間加重平均地)が公表されている。製造・使用場所においては、この値を下回る環境濃度となるよう管理・制御する。 作業責任者は、作業者に適切な保護具の選択や正しい使用方法、また作業現場の管理方法などの教育を行う。
対消費者ばく露	2-1	製品使用時は換気を心がけるなど、製品に付属の取扱説明書に従って使用する。
対環境ばく露	3-1	本物質は主に大気及び水環境へ放出されやすい。排ガス・排水処理施設を設置し、且つ漏洩防止などの対策を講じるとともに、定期的な監視や設備の保守点検を行う。
その他取扱注意事項		熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること
注意事項		通常の取扱い、緊急時対応、廃棄時、輸送時の管理措置は、当社が発行する安全性データシート(SDS)に従って対応して下さい。

(注)No.は「ばく露」記載箇所の「ばく露の可能性」に対する管理措置を記載しています。

政府機関のレビュー状況 （STATE AGENCY REVIEW）

有害性評価	レビュー状況
国際化学物質安全性カード	http://www.inchem.org/documents/icsc/icsc/eics0057.htm
SIDS Initial Assessment Profile (2004). Chemical Name: Methanol (CAS no. 67-56-1), For SIAM 19, 19-22 October 2004.	http://webnet.oecd.org/Hpv/UI/handler.axd?id=840a5b21-432b-488a-842c-283939c16175
SIDS Initial Assessment Report (2004). Chemical Name: Methanol (CAS no. 67-56-1), For SIAM 19, Berlin, Germany, 18-20 October, 2004.	http://webnet.oecd.org/Hpv/UI/handler.axd?id=f6aca735-7365-4578-986c-5a3cd5027555
ECHA Registered substances “methanol”	http://apps.echa.europa.eu/registered/data/dossiers/DISS-a13820c8-fbdb-6a5d-e044-00144f67d031/DISS-a13820c8-fbdb-6a5d-e044-00144f67d031_DISS-a13820c8-fbdb-6a5d-e044-00144f67d031.html
IRIS(米国 EPA(環境保護庁)によるリスク情報システム)	http://www.epa.gov/iris/subst/0305.htm

法規制情報／分類・ラベル情報
(REGULATORY INFORMATION / CLASSIFICATION AND LABELLING INFORMATION)

法規制情報

法律	規制状況
高圧ガス保安法	該当しない
消防法	第 4 類引火性液体、アルコール類 (法第 2 条第 7 項危険物別表第 1)
労働安全衛生法	第2種有機溶剤等 (施行令別表第6の2・有機則第1条第1項第4号) 危険物・引火性の物 (施行令別表第1第4号) 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (施行令第18条) 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) 作業環境評価基準 (法第65条の2第1項)
毒物及び劇物取締法	劇物(法第2条別表第2)
化審法	優先評価化学物質(法第2条第5項)
労働基準法	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条・別表第1の2第4号1、平成8年3月29日労働省告示第33号)
大気汚染防止法	特定物質(法第17条第1項、政令第10条)
海洋汚染防止法	有害液体物質(Y類物質) (施行令別表第1)
船舶安全法	引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法	引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)
化学物質排出把握管理促進法	該当しない
国連分類	3
国連番号	UN1230

GHS 分類情報

ハザード項目	分類結果(危険有害性情報)
引火性液体	区分 2:引火性の高い液体および蒸気
急性毒性(経口)	区分 4:飲み込むと有害
急性毒性(吸入)	(蒸気)区分外 (ミスト)分類できない(毒性報告の情報はない)
急性毒性(経皮)	区分外
皮膚腐食性/刺激性	分類できない(毒性報告の情報はない)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2:強い眼刺激
呼吸器感作性	分類できない(毒性報告の情報はない)
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	分類できない(毒性報告の情報はない)
生殖毒性	区分 1B:生殖能または胎児への悪影響のおそれ
特定標的臓器 (単回ばく露)	区分 1(中枢神経系、視覚器、全身毒性):臓器(中枢神経系、視覚器、全身毒性)の障害 区分 3(麻酔作用):眠気またはめまいのおそれ

特定標的臓器 (反復ばく露)	**区分 1(中枢神経系、視覚器)**:長期または反復ばく露による臓器(中枢神経系、視覚器)の障害
吸引性呼吸器有害性	**分類できない(毒性報告の情報はない)**
水生環境有害性(急性)	**区分外**
水生環境有害性(長期間)	**区分外**
オゾン層への有害性	**分類できない**

ラベル情報

絵表示またはシンボル	
注意喚起語	危険
危険有害性情報	・ 引火性の高い液体及び蒸気 ・ 飲み込むと有害のおそれ ・ 強い眼刺激 ・ 生殖能または胎児への悪影響のおそれ ・ 視覚器、全身毒性、中枢神経系の障害 ・ 眠気またはめまいのおそれ ・ 長期または反復ばく露による視覚器、中枢神経系の障害

出典 (REFARENCES)

日本化成株式会社(2013)メタノールの GPS/JIPS 対応リスク評価
日本化成株式会社作成 SDS(改訂日 2015 年3月15日)
(独)製品評価技術基盤機構(NITE)化学物質総合情報提供システム Chemical Risk Information Platform (CHRIP), http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/ComprehensiveInfoDisplay_jp.face

連絡先 (CONTACT INFORMATION WITHIN COMPANY)

会社名	**日本化成株式会社**
住所	**東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル**
担当部門・担当者	**化成品事業部**
電話番号／FAX番号	**Tel 03-5540-5906／Fax 03-5540-5961**

発行・改訂日 (DATE OF ISSUE / REVISION) その他の情報 (ADDITIONAL INFORMATION)

初版: **2015年3月31日発行**

改訂:

改訂日	項目	改訂箇所	版

特記事項:

なし